

4月8日(水) 本年度第37回(通算2772回)
「新入会員卓話」

担当/プログラム委員会

12:30～釧路プリンスホテル

◆メーキャップ

4/7 萩原 昭博君、坂入 信行君 (釧路北RAC)

◆出席報告【会員総数70名 免除5名 出席計算に用いた会員数70名】

本日の出席率 出席者33名 メーキャップ0名 出席率47.1%
前々回の修正出席率 出席者35名 メーキャップ3名 出席率50.7%

◆ニコニコ献金

- ・篠原会員、長内会員、本日の卓話を楽しみにしております ～萩原 昭博君
- ・篠原会員、長内会員、本日お二人にとって登竜門でございます。宜しくお願いします ～坂入 信行君
- ・結婚記念日、お花ありがとうございます ～篠原 恒也君
- ・51歳を迎えました。これからも宜しくお願いします ～東海林 均君
- ・結婚記念日に花束を頂きました。ありがとうございます ～高橋 邦弘君
- ・入会記念日です。以上 ～富樫 孝之君
- ・篠原君、長内君、新入会員卓話よろしくお願ひ致します ～日比 龍雄君
- ・娘のピアノリサイタルを5/24午後2時から、ふくしま医院の「うらり」にて行いますので、宜しくお願いします ～本間 明美君

◆会長挨拶

皆様こんにちは。4月に入りまして、桜前線の届く季節となりました。北海道では、朝夕はまだまだ冷え込む寒い日々があり、春本番には遠い感じが致します。今週に入りまして、小、中、そして本日は高等学校の入学式です。学校に携わる会員の方もおられると思います。ロータリー活動そして学校行事と忙しい日々を過ごしているのではないのでしょうか。

4月は当クラブの会員も2名転勤されましたが後任の方には入会の手続きをさせて頂いている所でもあります。

本日の例会は新入会員卓話となっております。2名の会員の方にスピーチをお願いしております。例会に出来るだけ出席していただき、和気あいあい、多くの会員と親交、親睦を深めて大いにロータリーを楽しんでいただきますようお願い申し上げます。会長挨拶と致します。

◆幹事報告

- ・根室・別海ロータリークラブ様から例会プログラムと会報が届いております。
- ・全国市民憲章運動連絡協議会より機関紙「市民憲章」が釧路女性団体連絡協議会より機関紙「きずな18号」が釧路市民活動センターより機関紙「わっと」が届いておりますので回覧をさせて頂きます。
- ・公益財団法人 米山梅吉 記念館より春季例祭のご案内が届いております。参加される方は回覧致しますので、ご記入お願い致します。
- ・昨日、会長・幹事でローターアクトの例会に出席してまいりました。
- ・R I 第2500地区 ローターアクト 第3ブロック春の交流会と合同例会の再度のご案内が届いておりますので回覧させて頂いておりますのでご参加可能な方はご記入をお願いします。
- ・国際ロータリー第2500地区の分区事業として第8回飲酒運転撲滅及び交通安全防止キャンペーンパークゴルフ大会開催致します。当北クラブがホスティングクラブとして親睦委員会ならびに当クラブの皆様の協力を得て取り組みたいと思いますので宜しくお願いします。
- 5/24(日) 赤いベレー9:30受付参加費は表彰式・懇親会込みで3,000円申し込み用紙を回覧致しますのでご参加宜しくお願い致します。もちろん送迎バスもご用意いたします
- ・故坂本一PDGの奥様、坂本陽子夫人が例会場に足を運ばれ、先日新聞に坂本新世代育成基金の記事を拝見し、継続して頂いている事に感銘し、少しでもご協力を言う事で10万円のご寄附を頂きました事を合わせてご報告いたします。

新入会員卓話



プログラム委員会
副委員長 日比龍雄 君

プログラム委員会日比でございます。どうぞよろしくおねがいします。
本日は今年度2回目の「新入会員卓話」でございます。上期に1回、そして下期は今日となりプログラム委員会としては最後のプログラムになります。
例年通り新入会員のかたのスピーチはそれこそ託された第1歩でもあります。
本日はご紹介させていただく会員はお二方で一人目は、9月17日理事会の承認を得て10月8日入会されました「篠原恒也」君。二人目は、1月5日に理事会の承認を得て1月21日に入会されました「長内信辰」君でございます。
すでにクラブには溶け込んでいただいておりますが、有能なお二人が当クラブに加わっていただき、更にこのクラブが盛り上がっていくことを願っております。



篠原恒也 君

みなさんこんにちわ、昨年11月に入会させていただきました、篠原です。
こういう場で、お話しするのは不得意なので、聞き苦しいところがあると思いますが、よろしくお願いします。

日々気温がマイナスからプラスの気温になってきて、だんだんこの釧路にも春が近づいてきました。この春という季節は、皆さんにとってもとても良い季節だと思えますが、私には1年で一番大事な季節、一番稼ぎ時の季節です。この季節頑張らないと、来年のお正月を迎えられません。

そこで、今日は私の仕事に関係する事ですが、ガーデニングに関するお話をさせていただきます。これから、4月下旬から5月に入ると皆さん花壇や畑を準備して、お花を植えたり、野菜を植えたりすると思います。花壇や菜園で花や野菜の苗選び大切なのですが、私が最も重要と思うのが、土です。この土が良いかどうかで、苗の生育や花の数、野菜でいうなら、収穫量やおいしさに関わってきます。

それでは、良い土とはどういう物なのかを説明いたします。良い土の条件として、大まかに4つあります。まずは、1つ目は保水性が良いこと、2つ目は保肥性（肥料もち）が良いこと、3つ目は通気性が良いこと、4つ目は排水性が良いこと、この4つの条件がバランスよく働いてこそ、良い土となります。ただ、この4つの条件は、相反する矛盾した条件で、普通は、通気性、排水性が良いと保水性、保肥性が悪くなり、保水性、保肥性が良いと、通気性排水性が悪くなります。

例えば、通気性、排水性が良い代表は砂ですが、皆さんお解りだと思えますが、砂は粒子が固いため、肥料分も水分もその粒子内に留めることができません、その逆に保水性、保肥性が良い代表は、粘土質です。これは、水はけが悪く、粒子が小さ過ぎて通気も悪いです。

それでは、その両方を単純に混ぜ合わせれば良い土に成るのでは？と思えますが、それだけでは良い土にはなりません。混ぜただけでは、4つの条件がバラバラに作用するだけで、本当の良い土にはならないのです。

それではどうしたら良いのかというと、土の中で団粒構造というものを作り上げることです。この団粒構造というのは何かというと、砂や粘土など様々な土の粒子がくっつきあって、小さな塊（団粒）を造り重なり合っている状態のことです。この団粒構造がなぜ植物に良いかというと、この団粒と団粒の隙間に根の呼吸に必要な酸素が確保せられていて、水やりのたびに新鮮な空気に入れ替わり、余分な水分も隙間を通り抜けていきます。つまり、通気性、排水性が良いが良い土ということです。

そして、この団粒の表面には水分・養分が付着しやすく、また団粒の内部にも蓄えられます。そして根が必要に応じて、団粒の表面や内部から水分、養分を吸収ができます。つまり団粒構造のある土は保水性、保肥性と通気性、排水性という矛盾した条件を兼ね備えた、理想の土ということになります。

それでは、この理想の土「団粒構造のある土」を作るにはどうしたら良いかと言うと、まず、団粒構造の団粒を作らないとなりません。その団粒を作るには、土の中の

粒子同士を結合させる必要があります。その結合をさせる為には、接着剤が必要です。その接着剤となるものの材料が有機物であり、その接着剤を作るのが有機物をエサとして、分解する微生物です。

この微生物が土の中で有機物を分解したものが、腐植分を造りだし、この腐植分が接着剤となり土の粒子同士を結合させて、団粒を作り出します。

このように、有機物を土に混ぜることで理想の土「団粒構造のある土」を作ることができるわけです。

では、皆さんが実際にこの団粒構造のある土を作るにはどうやれば良いか説明します。まず、良い土を作る時の材料として、黒土、赤玉土、鹿沼土、川砂、腐葉土、ピートモス、パーライト、バーミュキライト、この8つが代表的な、材料です。これを育てる植物、植える場所などを考慮して、配合していきますが、まず、この各材料の特徴を説明いたします。

黒土…黒土は有機物を多く含む黒い土で、保水性が優れ、庭の土など、多くの物に使われています。

赤玉土…一般に火山灰の一種の赤玉と呼ばれるものを、細かい粉分を除いて玉状にしたものです。これは、いろいろな植物の基本用土として使われています。

鹿沼土…火山灰の一種で栃木の鹿沼地方で産出する土です。弱酸性で、通気、排水性が良く園芸店売られている培養土にもよく使われています。

川砂…粘土質を含まず、通気性、排水性に優れていて盆栽やサボテンの土の混合用によく使われています。

腐葉土…これは、落ち葉を腐らせたもので、排水、通気、保水、保肥が良く、園芸用土にはなくてはならない土です。ただ、品質が様々で、落ち葉100%物や、天然発酵（薬品を使わない）の物、完全発酵、完熟と書かれた、発酵が完全に終わったものがおすすめです。まだ、発酵途中の腐葉土を使うと、発酵の過程で出る発酵熱により植物の根を焼いてしまうことになるので注意してください。

ピートモス…これは、大昔のシダや水苔が堆積して泥炭化したもので、保水、通気性が良く、花の生産者などが良く基本用の土としてよく使用していますが、酸性のため、PH調整をして使う必要があります。売られているものには、PH調整済みの物もあるので、説明書きをよく読んで購入してください。

また、ピートモスは軽いので、色々なベース用の土として定評があります。パーライト…真珠岩を高温発砲させたもので、軽石みたいなもので、沢山の小さな穴が空いていて、清潔で通気性も良いが保水性にも優れていて、挿し木や鉢物の混合用の土として使われています。

バーミュキライト…蛭石を高温発砲させてもので、パーライトと同じ用途で良く用いられます。

さて、土作りの基本的な材料について説明しましたが、どういう風に混ぜればよいのかと言うと、まずは、ベースとなるほとんどの植物に対応する土の配合として赤玉土7～6、腐葉土3～4の比率でブレンドします。この土をベースに、育てる植物、植える場所に合うよう、ピートモスを足したり、バーミュキライトや川砂、黒土を足したりいたします。例えば、ハンキングに使う土作りたいと考えた場合、塀や壁に吊るしたり、掛けたりするハンキングは、なるべく軽く作る必要があります、それを考慮しピートモス、パーライトなどの軽い材料を基本にブレンドします。例として、赤玉土：腐葉土：ピートモス：バーミュキライト：パーライトを2：2：2：2：2と言う土を作ります。いろいろ説明させていただきましたが、こんなブレンドするのが面倒だという方には、園芸店に行けば、育てる植物別、用途別の土がございますので、それを買うのが一番かと思えます。

ただ、その土を使っても土の乾きが早い、水切れが悪いと感じたら、先ほどまでの説明を思い出して、砂を加えたり、水持ちの良いピートモスを加えたりしてみてください。

これから、花壇や畑を作るのに大変良い季節となってきます。良い花壇、良い畑を作るには、花や野菜をすぐに植えるのではなく、それを植える土を今一度見ていただいて、

土作りから行ってみてください。そうすると、今までより良い花壇、良い畑ができると思います。今日のような簡単な説明では、分かりづらいと思いますが、分からないことがございましたら、当店のほうにお気兼ねなく、ご連絡ください。

皆さん、不慣れで聞きづらかったと思いますが、最後まで聞いていただきありがとうございます。それでは、これで、お話を終わります。



長内信辰 君

私がこの歴史のある、釧路北ロータリークラブに入会を許されて2ヶ月余りがたちました。いまだにお会いできずにいる先輩ロータリアンの方もいらっしゃいますが、私はできる限り、例会に参加して、顔と名前を憶えて頂き、先輩たちとの交流をできるだけ持ちたいと思っております。まだまだ勉強不足で何も分かりませんが、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

今度会員卓話をさせていただきますが、お題もなく何をお話をして良いものなのか分かりませんでした。色々考えてみましたが、はなばなし物は思いつきませんでした。

そこで、私なりに私の51年間の人生の中で得た経験より述べさせていただこうと思います。私はロータリーの事を少しでも多く学習する為にロータリークラブに関する色々な本を読んでみたりしましたが、ロータリアンにとって大切なものは職業奉仕であるのですとか、社会奉仕であると書かれておりました。皆様の前で私の思っている職業奉仕ですとか社会奉仕を述べる等という事は誠におこがましいので、私自身の職業経験や社会経験をもとに、少しお話しをさせていただきます。このように人前で話すのが不得手なので紙にしたためて来ましたので読ませていただきます。

私はH7年10月より独立して開業し、歯科医療で生計を立てております。お陰様をもちまして今年で20年になります。私の医院には0歳からお年寄りまで患者さんが来院します。とりわけ多くの子供たちが来院します。子供の皆がみんな上手に治療を受けている訳ではありません。中には治療を上手にできない子もいます。他の歯科医院で何の説明もなく無理やり治療されたり、大きな声で先生に怒られたりした子もいます。初めての治療でうまくできる子供はほとんどいません。

私の診療室では治療をする前に、全ての子供に治療を上手に進めていく為に必ずトレーニングから始めます。実際に使用する器具を見せて、触ってもらい、解かりやすい言葉で説明をして理解をして貰います。当然保護者の方にも診療室に入ってもらい見てもらいます。極度の緊張状態にありますので、3歳後半や4、5歳でもレントゲンの写真も撮れない子供います。そして更にお話をして、なだめたりします。実際の治療に入る前に子供と保護者との信頼関係を築く事が必要となります。小児歯科ではこれが当たり前の事なのです。結局、初診で来院したけど本日はトレーニングだけでお終り、治療は出来ませんでした、という子供も多数います。大切な事は次回、上手にできればそれで良いのです。3回目のできる子供もいます。できた子には多少大げさに褒めてあげます。「よくできたね、がんばったね。」と一言いうだけで子供は自信がついてきます。「先生にほめられた。お姉さん褒められた。」子供は保護者の方に嬉しそうに報告します。子供は次も頑張ろうという気持ちが湧いてくるのです。

一番良くない事は治療嫌いな子供を作ってしまう事だと私は思います。3、4歳であれば頭の中に記憶が残ります。歯科治療は怖い、そして痛いイメージとなり一生、トラウマになってしまいます。大人の方でも治療する前に子供の時に受けた嫌なイメージの治療内容を昨日の事のように話してくれる患者さんもいます。何事も一番最初が肝心なのです。最初は簡単な虫歯の所を見つけて1回で直る治療から始めます。子供は少し頑張ればできればできる、という事を理解します。それ以降はステップアップした治療を進めていきます。治療費は1人につき、このように3~40分かけて初診料とレントゲン写真を撮影し、トレーニングのみで6歳以下では保険適応で一人につき1,000円にもなりません。正直なところ時間と労力という関点からしますと、これにけたたましい泣き

声やたまに来る力まかせのキックを受けるというオプションを含めると、妥当性に疑問を感じる事も無いわけではありません。しかしこのステップ通じて次世代を担う子供達が上手に治療を受ける事が可能になり、ひいては口腔内の健康をしっかり保つという意識を持ってくれるのであれば、その手伝いができる事は、私にとってそれが一番嬉しい事なのです。日々それを糧に治療をしています。

暦越ではありますが、私が目々心身共に実践している事は、まさにはロータリークラブの職業奉仕という理念に合致しているのではないのでしょうか。子供は小さな大人ではありません。幼稚園児には幼稚園児の考えがあります。小学生には小学生の考えしかないのです。何故ならそれしか人生の経験がないからです。子供は成長する過程でより物事を深く考えられる様になります。そして少しずつ少しずつ人生の経験をして行くのです。時には間違った事も経験します。それは決して悪い事ではありません。ここで自分の例を出すまでもありませんが、時代により、価値が多少変わったとしても古今東西、人類の進化の過程において、間違った時には、周りの人生の経験を多くつんだ先輩たちが行く道を、良い方向に導いてくれるのではないのでしょうか。たくさんの色々な経験をする事により、実質的な人生の引き出しができ、その引き出しが多ければ多いほど人間は困難に立ち向かう強さができるのではないのでしょうか。又、それが心身の豊かさを生みひいてはクオリティーオブライフという価値の根底にもなるのではないのでしょうか。

では皆さん社会奉仕とは新入会員の私にとって具体的にどのように考えて行けばよいのでしょうか。ロータリアンとしての団体で行う社会奉仕もあるでしょうし、釧路歯科医師会のメンバーとしての社会奉仕もあります。私なりに考えてみました。まずは新入会員の私が今やらなければいけない事は、例会にできる限り出席をし、奉仕についての視野を広げる為に、皆さんの話を伺い国際ロータリーの理念に基づく、釧路北ロータリークラブの奉仕の意義や仕方を具体的に実践的学ぶ事であると思っております。

それぞれの年、そしてそれぞれの地域においての最適な奉仕をする為に例会に出席していきたいと思っております。

社会奉仕を通じて、次世代の子供達を含めた、未来の釧路を担う、釧路市民の皆様を名実ともに我々が応援し、そしてロータリアンとして自分自身も自ら成長してゆく事ができれば、本当に素晴らしい事だと思います。一日も早く、皆様の様な立派なロータリアンとなり、少しでも社会に貢献する事ができますよう、これからも努力を重ねて行きたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。本日は御静聴ありがとうございました。